

人口減少率・高齢化率が共に全国一となっている秋田県にとって、若者の地元定着などの問題は秋田県内共通の課題であり、秋田大学にとっても学生の学力維持や入学者の確保などといった様々な課題に直面しつつあります。本シンポジウムでは、秋田大学の将来に向けた教育研究実現の可能性などについて、夢を語りながらさらなるステイタスアップに向けた展望を議論する機会とし、高校生や地域社会にとって、より魅力ある大学づくりを目指します。

《日時》 令和元年**8月25日(日)**
13:30～16:20(開場13:00)

《会場》 **秋田キャッスルホテル**
〒010-0001 秋田市中通 1-3-5
TEL 018-834-1141(代)

参加費無料

《定員》 先着**500**名(高校生の参加を優先します)

《対象》 高校生、保護者、高校教員・教育委員会関係者、
一般市民、秋田大学教職員・学生

第1部：基調講演(13:40～14:40)

「タンパク質研究が教えてくれたこと」

講師：東京大学定量生命科学研究所

教授 **豊島 近氏**

※ 経歴は裏面をご覧ください。



第2部：パネルディスカッション(14:50～16:20)

「高校生と語る 秋田大学の未来像」

パネラー：秋田大学の学長・各学部長

(国際資源学部, 教育文化学部, 医学部, 理工学部)

県内高校の高校生

テーマ：①「高校生にとって魅力ある研究とは」

②「最新技術について知りたいこと」

③「秋田大学に期待すること」

秋田大学のさらなるステイタスアップを目指して
～高校生の夢を育む秋田大学の未来像～

秋田大学創立70周年記念シンポジウム



豊島 近 (とよしま・ちかし) 氏

東京大学 定量生命科学研究所 教授

1954年秋田県生まれ。秋田高校卒業後、78年東京大学理学部卒。83年同大学院理学系研究科物理学専攻博士課程修了(理学博士)。84年同大学理学部物理学教室助手、86年米国スタンフォード大学細胞生物学教室博士研究員、88年英国MRC分子生物学研究所研究員、89年理化学研究所・国際フロンティア研究員、90年東京工業大学理学部助教授を経て、94年より東京大学分子細胞生物学研究所教授。同研究所附属高難度蛋白質立体構造解析センター長。2018年4月東京大学定量生命科学研究所発足に伴い同研究所教授。専門分野は構造生物学。2000年にイオンポンプタンパク質のX線結晶構造解析に世界で初めて成功。その後、カルシウムポンプとナトリウムポンプの反応途中の構造を次々と決定し、イオンポンプが作動する仕組みを原子レベルで解き明かした。受賞は、10年朝日賞、11年山崎貞一賞、15年紫綬褒章、上原賞、16年武田医学賞、Gregori Aminoff 賞、18年恩賜賞・日本学士院賞。05年より米国科学アカデミー外国人会員。

秋田大学創立70周年記念シンポジウム 参加申込書

FAX 018-889-2928

先着500名 申込締切: 8月9日(金)

氏名	
住所	
連絡先	TEL: _____ E-mail: _____

※団体でお申し込みの場合は、氏名欄に、代表者の氏名の他、「〇〇〇(団体名) 〇人」などの情報及び代表者の住所、連絡先をご記入のうえ、参加者の氏名等を記載した一覧を別様(様式任意)にて添付願います。

※事前アンケートのお願い

シンポジウムへの参加申込みにあたり、次の事前アンケートにご協力くださるようお願いいたします。なお、お答えいただいた内容は本シンポジウムのパネルディスカッションでの議論の参考情報とするためのものであり、本目的以外には一切使用いたしません。

パネルディスカッションのテーマである ①高校生にとって魅力ある研究とは、②最新技術について知りたいこと、③秋田大学に期待すること、その他、その他大学に関する意見がございましたら自由にご記入ください。

※郵送の場合は、次の郵送先に送付願います。

〒010-8502 秋田市手形学園町1-1

秋田大学 地方創生・研究推進課 宛

TEL 018-889-3009

※秋田大学の研究内容については、以下のアドレスからご覧になれます。

○ 高校生のための研究者・研究内容紹介

<https://www.akita-u.ac.jp/kdcenter/lab.html>



○ 研究者紹介特設サイト

<https://www.akita-u.ac.jp/honbu/lab/>

